

千里 Ch.

「キリストが望まれている生き方」

2023. 9. 17.

マルコ 12:41～44

今日の聖書箇所では、律法学者たちと対照的人物社会の底辺、社会的弱者ひとりのやもめの献金の物語です。このところから、十字架にかかる数日前に語られた場面から「キリストが望まれている生き方とは」何かを学んでいきましょう。

I. 普通世間一般では、人を地位や財産によって評価する。

42 節 貧しいやもめがレプタ銅貨 2 枚 * 最小単位の銅貨。

レプタ：ギリシャ名、コドラント：ローマ通貨。1 レプタ、1 コドラント 100 円、200 円ぐらい。レプター一つで、1 デナリの 1/64

誰もやもめの献金に目を留めない。目に入ったとしても、さげすむだけ。多くの人の評価はそのようなものでした。

II. 私たちは、このやもめのように自らを献げ神様に従う者になろう。40～44 節

43 節 イエス様の評価は多くの人々と違った。

貧しいやもめの境遇(夫を亡くした)は、この当時、社会で弱い立場であった。

そのような状況の中で、彼女は 2 レプタ全財産をささげたんです。どうすれば、人は生活費全部献げることができるのでしょうか？

人からの強制ではできません。神様から要求されてもできないでしょう。自由の中で、自発的に神様に感謝するために献げたのです。悲壮感はありません。神様から 2 レプタ献金したから何かをもらうためでもありませんでした。神様によってすべて与えられ、生かされている。私の人生は、あなたのもの。神様に従う生き方。献身する生き方です。

ローマ 12:1(P317)「ですから、兄弟たち、私は神のあわれみによって、あなたがたに勧めます。あなたがたのからだを、神に喜ばれる、聖なる生きたささげ物として献げなさい。これこそ、あなたがたにふさわしい礼拝です。」

主に献げる。持ち物も、私自身も、私の人生も主のもので。あなたのご自由にお使ください。神様の人生。神様が私の全責任をとってくださることを意味する。神様の作品として、神様が私を通して神様の栄光を現そうとされる。主が私の人生に目的と意味をもっておられる。そのために必要なものは、主が与え導いてくださる。キリストに似た者へと新しく造り続けてくださる。いつ、どのようにかわからないけれど、主を喜び、感謝していく。これが、あなたにもキリストが望んでおられる生き方である。

詩編 146:9(P1088)「主は寄留者を守り、みなしごややもめを支えられる。」